







)であり、不者(アル=ハイユ)であり、自存者(アル=カイユム)であり、全知者(アル=アリム)であり、全者(アッ=サミウ)であり、全者(アル=バスィル)であり、容赦する者(アル=アフウ)であり、援助者(アン=ナスィル)であり、治する者(アッ=シャフィ)なのです。

最も 繁に用いられている美名としては、“慈悲あまねく者”、“慈 深き者”などがあります。そしてクルアンの全ての章は唯一つの章を除き、次の言い回しによって始まるのです。

“慈悲あまねく慈 深きアッラ の御名において。”

この言い回しはムスリム(イスラ ム教徒)によって、キリスト教徒の祈 で かれるような、「父と子と の御名によって」という言い回しよりも 繁に使用されています。ムスリムは 食を始め、生活のあらゆる 面でいかなる事を始めるにあたって神の名において 始し、神のご慈悲とお情けを思い起こしているのです。

また“赦し”とは、人と神との において多大なる重要性を持っています。人 は弱い存在であり罪を犯さずにはいられませんが、神はその深いご慈悲によって快くお赦しになるのです。言者ムハンマドはこう言われています：

“????????????????????”????????????????

ゆえに“慈悲あまねき者”や“慈 深き者”と んで“赦す者”(アル=ガフル)、“よく赦す者”(アル=ガッフアル)、“悔悟を受け入れる者”(アッ=タウワブ)、そして“容赦する者”(アル=アフウ)などの美名もまた、ムスリムの礼 中に最も 繁に使用される御名の中に含まれてるのです。

この 事のウェブアドレス：

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/51>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。